

船橋市 衆議院議員

自由民主党
千葉県第4選挙区支部 支部長

木村てつや 通信

発行所：自民党千葉県第4選挙区支部事務所
郵便番号 273-0011 千葉県船橋市湊町1-2-21-201 電話 047-433-3088

自民党



生活に寄り添う 政策実現!!

〈第204回国会〉 日本の未来のために 未来を担う子供たちのために

過去最大106兆6097億円と3年連続で大台を超えた第204回国会も後半戦に突入。新型コロナウイルス感染症対策を最優先課題として取り組み、国民の命を守り抜くと共に、日本経済を一刻も早くコロナ前消費税アップ前の状態に回復すべく全力を尽くしている。

私、木村てつやは、日本に於ける、先を見据えた二備えの考え方や体制が脆弱であると感じている。

まずは、100年に一度の感染症による緊急事態対策では、緊急的医療体制不備や国内産ワクチンの遅れやデジタル化の遅れも顕著に。また、気候変動による自然災害の続く中、いつ起こるかわからない東海・東南海・南海トラフ地震や首都直下地震対策のための国土強靱化併せてコロナで経験した海外に頼りきりの物品や食料(自給)についてのサプライチェーンの見直しをしなければならない。そして、トランプ政権からバイデン政権に代わり日本の領空・領海・領域・尖閣諸島含む近隣諸国との問題)からの同盟に甘んじない独自の防衛体制の強化等、内政・外交的な問題は山積している。

日本の将来に向けて、未来を担う子供たちのために、有効な対策を講じるために、私、木村てつやはしっかりと政策提言・検証を実施し、引き続き諸問題解決に向けて取り組むことをお約束します。

安全で効率的なワクチン接種

コロナに於いては変異株の発生によりフェーズが変わって来

た。国民の命を守るためには今までの教訓から次のステージに備えてマンパワーの拡充、重症・中等症者病床の確保、ホテルなどの施設整備、自宅療養の医療体制の整備は欠かせない。国民の皆様を不安を払拭し安心を得るためには、100年に一度の感染症拡大に対応できる体制づくりが必要不可欠である。

感染対策の決め手であるワクチンについて、6月末までに65歳以上の約3600万人分を確保し、基礎疾患を持たれている高齢者や福祉従事者、60歳・64歳、16歳以上という流れで接種を予定。5月初旬からワクチンがより一層入荷され、またアストラゼネカワクチンの日本国内での生産が始まることから、中盤から後半にかけてワクチンの余剰が懸念される程である。

船橋方式

船橋市に於いては医師会との友好関係の下、安全に効率よく接種する、船橋方式(個別方式)で市内約162の医療機関に協力をいただき、近くの診療所やかかりつけ医で、インフルエンザワクチン同様、接種できる。今後も接種可能な医療機関を増やして行く。

国内産ワクチンに期待

今後は世界でのワクチン争奪戦の反省から外国産に頼ることなく、より研究費を投入して国内産開発を進めて国内企業に於ける治験が進み、国内産のワクチンが選択肢に加わるよう大いに期待。

医療・福祉従事者のみなさまを守る!

新型コロナウイルスが感染拡大して長期化している状況下、次から次へと波及が襲ってくる中において、最前線で国民



の生命を守るために闘っている医療・福祉従事者の皆様へ敬意を表すとともに、心から感謝を申し上げます。
その皆さまが心身精神的疲労から離職、報酬減、というようなことが無いよう、慰労・補償が必要不可欠である。

また、いまだに感染者や濃厚接触者、医療・福祉従事者のご家族に対しての差別的な発言や行為、偏見や誹謗中傷が挙げられ、このような発言や行為は絶対にあつてはなりません。



国民のために働く木村てつや

「船橋市の渋滞問題」 15年ぶりに国会で政府施策を資す

木村てつや議員は、令和3年7月26日衆議院予算委員会第八分科会(国土交通省所管分野)において、特に船橋市を取り巻く道路の問題と千葉港船橋地区海岸施設耐震化促進、港湾における防災・減災、国土強靱化について政府の指針を質しました。

15年間国会で取り上げられていない船橋市の道路問題

Q:千葉県として船橋市内の道路の現状をどう把握され、今後の計画を教えてください。

A:国道14号、296号、357号の船橋市内区間については、広範囲にわたる慢性的な渋滞や、高速道路並みの大型車の混入など、交通課題が生じており、船橋市内には33か所の慢性渋滞箇所があると認識しています。これまで、合津船橋ICを整備、末広橋及び海老川大橋の拡幅工事に着手する等、対策を実施してきたところですが、抜本的な渋滞解消には至っていない状況です。

このため、抜本的対策の実施に向け、千葉県沿岸地域における規格の高い道路計画の基本方針を策定し、計画の具体化を進めているところで。また、国道14号、296号、357号の円滑な交通確保に向け、引き続き、拡幅工事等の対策や抜本的対策の計画の具体化を二つひとつ進めて参ります。

船橋市が主催する船橋市交通ビッグデータ見える化協議会に国も参加し、データに基づく効率的な渋滞対策を更に推進していく

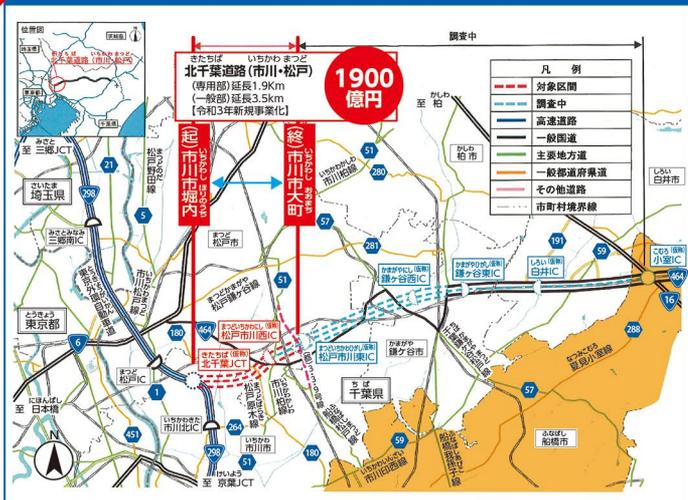
方針であります。国土省吉岡道路局長から、大変前向きな心強い答弁をいただきました。(2、3面に道路特集ページ)



国土交通省 吉岡幹夫道路局長

始動!! 令和3年度道路事業

1 一般国道464号 北千葉道路 市川市堀内から大町まで開通!



船橋市民の住みかへゾーン
最も注目すべきは、回答者の100%が住みかへゾーンと答えていると回答した道路の慢性的な渋滞です。

北千葉道路1900億円獲得!
成田から外環道に続く北千葉道路には「船橋小室1C」が予定されており、船橋市内の渋滞解消と流通経済の発展に期待が寄せられています。

木村つやは、令和3年1月より3月まで、はがきやメールなどによる住民の意識調査を実施。生活におけるお困りごとをお伺いしました。コロナについては、*コロナ疲れを感じている。*新しい生活に慣れてきた。*コロナ禍で家族の絆が強くなった。*コロナ禍で政治が身近なものと感じるようになった、という不安の中にも前向きな意見も頂戴しました。

スピード感をもって臨む 道路渋滞問題の解消

道路の慢性的な渋滞

船橋市の道路問題解消は64万市民の願い。国道14号、296号、357号の渋滞解消や歩道整備。また、旧道船橋我孫子線(船取線の4車線化、木下街道、小室夏見線の右折車線設置、歩道の拡張は必須。幹線道路の渋滞、整備不良から抜け道を通る車で日常的に子供や高齢者は危険にさらされています。

2 一般国道357号 東京湾岸道路 船橋市域改良 決定!!



第二湾岸道路 前進宣言!
また、市原から東京へ抜ける第二湾岸道路では船橋の渋滞の根源である70%と言われる通過交通解消がなされ、トレーラーや大型車の減少による渋滞解消が期待されます。木村つやは、子供たちに安心して高齢者に優しく健康的な生活ができる道路に改善致して参ります。

早期実現を目指し 国土交通省に要望



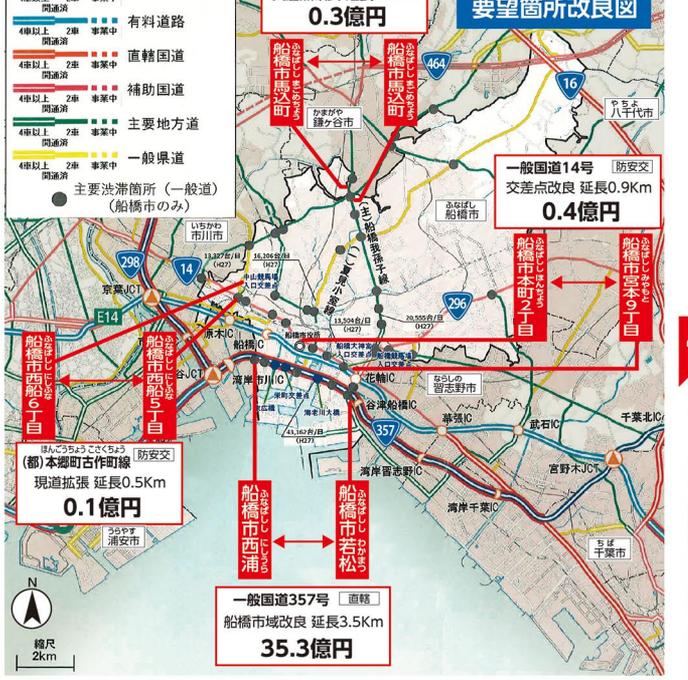
令和2年12月25日
吉岡幹夫 道路局長へ



令和3年1月13日
朝日健太郎 国土交通大臣 政務官へ

船橋市内の縦軸・横軸となる主要な国道・県道は交通量が年々増加し、交通渋滞が慢性化。市民の経済活動や日常生活に大きな影響があります。木村つやは、船橋市と一体となって交通渋滞慢性化の解消のため、船橋市内の生活道路の整備促進の必要性を国に強く訴えています。

3 船橋市 要望箇所改良図



4 京成船橋競馬場駅前 横断歩道橋整備決定!!



船橋市内渋滞改善
要望重点箇所

船橋市民の悲願、いよいよ始動! 船橋道路元年へ

要望② 県道夏見小室線については、船橋駅北口十字路交差点の右折レーン延伸の改良を早期に行うとともに、船橋駅北口十字路交差点から船橋市夏見2丁目までの約900メートル区間について、早期に拡幅整備を行うこと。



要望① 主要地方道船橋我孫子線の東船橋3丁目交差点から芝山団地入口交差点までの約1,550メートル区間については、早期に4車線化を図ること。



行田公園の道路視察



要望③ 国道14号の主要な交差点である中山競馬場入口交差点、大神宮下駅入口交差点、船橋競馬場前交差点については、右折レーンの延伸などの交差点改良を早期に行うこと。



要望④ 国道357号については、船橋市域の渋滞対策を早期に図ること。



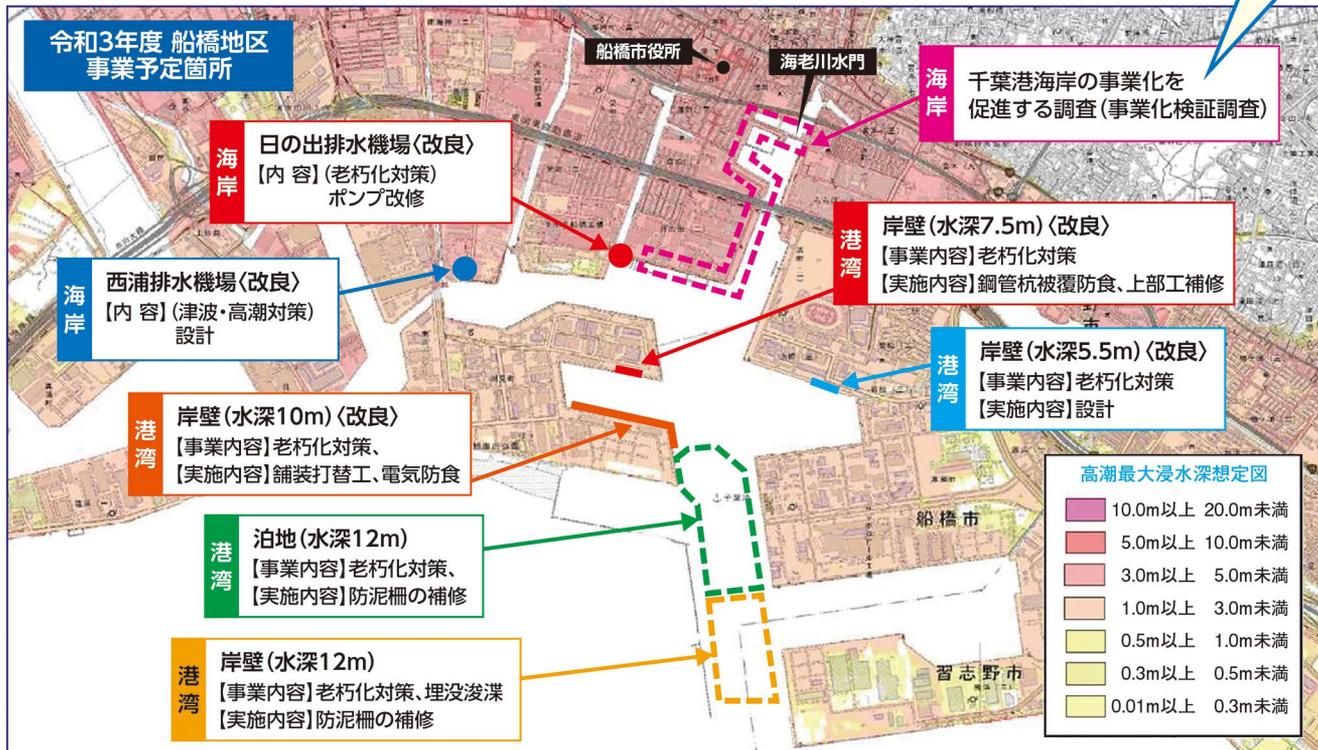
一部記載に誤植がありました。大変失礼いたしました。以後このようなことのないように気をつけてまいります。
* 国道228号→国道288号、小作町→古作町など。

木村てつやは 船橋市民の毎日の暮らしと 大切な生命・財産を守ります

この施設での防護面積は1,230ha、防護人口は津波対象地域で82,000人とされています。

千葉港海岸保全地区船橋港関連予算について

船橋地区海岸保全施設の耐震対策・老朽化対策調査費2億円を獲得! さらなるボーリング調査を進め、工法の検討など事業化に向けてさらに前進!



令和4年度事業化を目指して



国土交通省 高田昌行港湾局長

昨年に続き、令和2年度第3次予算+令和3年度予算で調査費2億円を獲得し、令和4年事業化を目指して参ります。

令和3年2月26日衆議院予算委員会第八分科会(国土交通省所管分野)において、築50年の老朽化、耐震化がなされていない船橋地区海岸施設の今後について質問しました。

事業化までのスケジュール

- 事業化に向けた調査**
令和2年9月開始(1~2年間程度)
現地調査・老朽化調査・測量・土質・環境調査・施工検討
- 地元での合意形成**
シンポジウムの開催
- 予算要求、事業評価**
国への要望活動
- 新規事業化、現地着手**
令和4年を目指します

木村てつやが相談役代表を務める船橋地区海岸保全施設耐震化促進協議会の最新活動はこちらからご覧いただけます→<https://www.funabashi-suimon.net/>

自由民主党
千葉県第4選挙区支部 支部長
衆議院議員

木村てつや



昭和44年 船橋市行田町生まれ
・平成10年 第66代衆議院議長 田村元秘書
・平成11年 船橋市議会議員選挙(29歳)初当選~3期連続当選
・平成23年 千葉県議会議員選挙(41歳)初当選
・平成26年 衆議院議員選挙(45歳)初出馬次点
・平成29年 衆議院議員選挙(48歳)比例南関東ブロック当選
(1期目) 自民党厚生労働部会副副会長 ほか

国民のために働く木村てつや

日々の活動や発言をリアルタイムに発信中!!



木村てつや 検索

公式ホームページ

<https://tetsuya-kimura.com/>

ご意見やご相談をお待ちしています。

SNSも更新中!

- Facebook
- Twitter
- Instagram



発行：自民党千葉県第4選挙区支部事務所

〒273-0011 千葉県船橋市湊町1-2-21-201
Tel.047-433-3088 / Fax.047-498-9155
info@tetsuya-kimura.com